

記入例

年 月 日

特定非営利活動法人唐津環境防災推進機構 KANNE

理事長 生部 高 様

団体名は正式名称で記入

住所 唐津市西城内1番1号

団体名 からつ会

代表者 役職名 会長

氏名 唐津 太郎

印

令和2年度唐津市うみ・やま・かわ環境調和のまちづくり事業活動計画書
このことについて、下記のとおり関係書類を添えて提出します。

記

※提出の際、添付不備がないよう再度ご確認ください

今後、当事業の書類には同じ
印鑑を使用してください。
・法人の場合は代表者印
・任意団体は代表者の個人印

1	事業計画書（第2号様式）※様式注意※
2	収支予算書（第3号様式）
3	支出積算明細書（別紙1）
4	活動計画のアピール（別紙2）
5	団体に関する調書（第4号様式）
6	その他 ・団体の規約 ・団体の役員・会員名簿全員分（ご氏名、ご住所） ・その他必要な書類（活動場所の地図、写真）

※応募要項等を承諾のうえ、
応募します。

はい いいえ

《担当者連絡先》

住所	(〒 -)		
フリガナ 氏名			
TEL 携帯電話		FAX	
E-mail			

必ず連絡が
とれるところを
ご記入ください

第2号様式（第6条、第9条関係）

令和2年度事業計画書（環境保護・環境美化事業）

団体名 からつ会

事業の名称	〇〇地区の花いっぱい事業
事業実施場所の所有者	〇〇地区の土地
事業実施場所選定の理由・経緯	花壇は県道沿いにあり、車通りや人通りの大変多く、地域の人だけではなく、通る方に快適で美しいと実感していただけるため。 ・場所：佐賀県唐津市〇〇地区 ・花壇の広さ：〇〇a と〇〇a の花壇
事業の アピールポイント 事業実施により 期待される効果	（「誰（何）に対して」「どのような面で」「何が」「どのように」なるのか）などを記入 地域の大人から子どもまでが参加して行うことで、花壇づくりを通して、花や緑を愛する心や環境保全への意識を高めたり、生命の大切や奉仕の心を育むことができる。水やりや草取りなどの作業は年間を通じた交流と親睦にもつながり、地域コミュニティの復活も期待される。
事業スケジュール (日時及び場所)	①花植活動 ・6月 チラシ作成、配布 ・6月日曜日の午前中 花植え作業（花の選定、買い付け、花壇の準備） ・10月 チラシ作成、配布 ・11月日曜日の午前中 花植え作業（花の選定、買い付け、花壇の準備） ②月1回は除草、水やりなど管理作業
参加者の範囲 及び予定人数	①花植活動 地域住民（子どもを含めて） 約30名/回 ②月1回の除草、水やりなど管理作業 地域住民 約10名/回
広報活動	告知方法・頻度 ・作業前に毎回、チラシを作成し、回覧板でまわしたり、地区の小学校や子どもクラブで配布、公民館に掲示
事業実施期間	令和2年〇月〇日から令和3年3月31日まで

事業が複数ある場合は分けて記載

- ・新規団体は7月1日以降から事業開始可能になります。
- ・前年度採択を受け、活動した団体で昨年度からの継続事業の場合は、4月1日にさかのぼることができます。

第2号様式の2（第6条、第9条関係）

令和2年度事業計画書（環境企画・環境教育事業）

団体名 温暖化防止隊

事業の名称	エコカルタで温暖化ストップ
事業実施場所 選定の理由・経緯	これから公募により小学校や児童クラブ、公民館活動へ事業の実施を呼びかける。 参加者募集からすると大変な労力となるために、既存の団体へ出向いて行う。
事業の目的	私たち1人ひとりの日々の暮らしは社会や産業等の活動と直結しています。1人では省エネ効果が少ないように思えますが、私たち1人ひとりのライフスタイルを変えて行くことが温暖化防止対策にもつながります。エコカルタを通して子どもたちから環境に配慮した具体的な取り組みについて自ら行動し、活動を広げることができる人材育成を目的とします。
事業の目標 (数値目標や、地域に還元される成果目標、他団体への波及効果など)	小学校や児童クラブ、公民館行事等、5回実施を目標とする。約300人が参加。 エコカルタをする事によって、楽しみながらエコについて学び、身近にできるエコを宣言してもらい、日々の生活で実践をしていただくことで家族にもエコな活動が波及していく。
事業スケジュール (日時及び場所)	7月 チラシ作成 8月 実施校を募集のため、市内の小学校をまわる 7月～8月 実施に向けてプログラムの作成 9月～12月 エコカルタ大会の実施 1月 実施アンケートをもとにプログラムの改良
参加者の範囲 及び人数	・唐津市内の小学生 約300人
広報活動	告知方法・頻度 ・唐津市内の小学校にチラシを作成し、持って行き、校長先生などに直接依頼をする。 ・新聞社に連絡をして記事として取り上げてもらう。 ・団体のホームページやフェイスブックに掲載する。
事業実施期間	令和2年〇月〇日から令和3年3月31日まで

事業が複数
ある場合は
分けて記載

- ・新規団体は7月1日以降から事業開始可能になります。
- ・前年度採択を受け、活動した団体で昨年度からの継続事業の場合は、4月1日にさかのぼることができます。

第2号様式の3（第6条、第9条関係）

令和2年度事業計画書（環境団体の自主事業の構築・確立事業）

団体名 特定非営利活動法人からつん里山を守る会

事業の名称	からつん里山再生事業
事業の目的 (社会的な意義)	里山が荒廃し、里山特有の生物多様性を低下させ土砂崩れを招いたりして里山環境を悪化させています。この状況を食い止めるには竹を間伐し日常的に使い、里山の機能や景観の再生を図る。
申請事業の概要	<p>①里山から切り出した竹を様々な物に加工し、例えば、竹炭、竹チップ・パウダー、メンマとして販売が可能かマーケティング調査を行う。</p> <p>②活動場所（メインフィールド）とする里山の近くの空き家を借り、事務所とする。その場所は、誰でも集えるようなオープンスペースにし、さらに毎週日曜日は竹ボイラーの足湯を設置。活動の参加者には自由に入ってもらい、その他の人には入湯料を取り活用していただく。</p> <p>③竹きりバスターの養成講座。竹を伐採してもらえる人材の育成。</p>
自主事業化のポイント (事業収入を得るためのポイント、独自性、差別化のポイントなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業収入を得るため、竹製品を色々と製造し販売する。そのために試作品をつくり、マーケティングを行う。 ・皆さんが集えるオープンな事務所としネットワークを広げる。 ・牛の敷材として竹チップを使ってもらい、牛糞と混じり出来た堆肥を活用して有機野菜をつくり東京や福岡、WEB上で将来的に販売する。
地域との連携 (連携先があれば名称と役割)	<ul style="list-style-type: none"> ・有限会社〇〇ファーム（畑提供者） ・道の駅〇〇（竹製品販売のモニタリング） ・空き家持ち主個人（事務所提供者）
市外地域との連携 (連携先があれば名称と役割)	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社〇〇（有機野菜買い取り、販売） ・〇〇株式会社（メンマ製造会社） ・株式会社〇〇（竹ボイラー販売先） ・〇〇〇〇（マーケティング講師）
事業実施期間	令和2年〇月〇日から令和3年3月31日まで

複数事業がある場合は
分けて記載

- ・新規団体は7月1日以降から事業開始可能になります。
- ・前年度採択を受け、活動した団体で昨年度からの継続事業の場合は、4月1日にさかのぼることができます。

- ※ 事業に伴う売り上げ、参加費、入場料その他の収入については、その額を補助対象経費から差し引きます。
- ※ 計画の事業の一部が実施出来ずにお金が余った場合や事業収益金が予定を上回った場合は補助金交付決定額を減額いたします。その場合は、補助金変更承認申請書を提出していただきます。

収 支 予 算 書

補助対象経費 = 総事業費 - (補助対象外経費 + 事業収入)

総事業費	152,800 円		
補助対象経費	142,800 円		
補助金交付申請額	9/10	128,520 円	
区分	科目	金額 (円)	積算内訳
収入	補助金	133,020	唐津市うみ・やま・かわ環境調和のまちづくり事業
	会費	5,000	@500×10人
	協賛金・寄付金	4,780	〇〇会社 ←どこからか記入
	入場料、参加料	10,000	観察会参加料 200 円×50 人
	合計	152,800	
支出	借上げ料	43,000	別紙の内容を合算
	印刷製本費	18,000	
	消耗品費等	34,000	
	保険料	8,000	
	謝金	10,000	
	交通費	3,800	
	通信運搬費	5,000	
	備品購入費	25,000	
	食糧費	6,000	
合計	152,800		

1 円未満切捨

総事業費 = 収入合計 = 支出合計

科目は、応募要項の補助対象経費一覧に統一をお願いします。

支出積算明細書

科目	予算額	積算内訳 (単位:円)
補助対象経費一覧の科目に従って記入してください	科目ごとの合計金額を記入	各科目の内訳の詳細を記入してください 事業内容、実施回数、人数が事業計画書と整合性がとれるようにしてください!
1 ○○の環境整備		
借上げ料	36,000	・ 除草機借上げ料 3,000円×4台×3回=36,000
消耗品費等	31,000	・ 清掃用具(鎌) ○○円×○○個=○○○ ・ 混合油 ○○円×○○L=○○○
保険料	5,000	・ 傷害保険 ○○円×○○人×○○回=○○○ ・ 損害賠償保険 ○○○○
備品購入費	25,000	・ 草刈り機 ○○○○円×○台=○○○○
食糧費	6,000	・ お茶 100円×20人×3回=6,000
2 △△△自然観察会		
会の開催借上げ料	7,000	・ スピーカー、マイク一式 ○○○○
謝金	10,000	・ 講師謝金 ○○○○円×○人=○○○
交通費	3,800	・ 講師旅費 JR運賃 ○○駅~○○駅往復 1,900円×2=3,800円
印刷製本費	6,000	・ 観察会配布資料 ○○円×○○部=○○○ ・ 参加募集チラシ(A4) ○○円×○○枚=○○○
通信運搬費	5,000	・ 連絡用切手 ○○円×○○枚=○○○
消耗品費等	3,000	・ サインペン6色セット ○○○○
保険料	3,000	・ 傷害保険料 ○○円×○○人=○○○ ・ 損害賠償保険 ○○○○
3 広報活動		
印刷製本費	12,000	・ ボランティア募集チラシ(A3、カラー) ○○円×○○枚=12,000
合計	152,800	

複数事業がある場合は分けて記載

(別紙2)

活動計画のアピール等

1 活動計画のアピール

団体名 〇〇地区花と緑の会

※下記の項目は、審査基準と同じです。

提案している活動がこれらの基準を満たしていることを説明してください。

項 目	内 容
(1) 創造性 新たに又は発展的に取り組む活動であること。活動の広がり期待できること。	これまでは地区の年配者が中心になって活動をしてきたが、地域の子ども達にも積極的に参加を呼び掛けて、地域住民が一体となって地区の花壇を見守る。
(2) 自主性 自主的に取り組まれる事業であること	自分たちの花壇であると愛着を持って、花壇の花の選定からすべて会員で実施をしている。
(3) 継続性 一過性でなく、継続性が見込まれる活動であること	地域の皆さん、通る人にいつでもきれいな花が楽しめることを期待していただいている。今後も花を楽しんでいただけるように、団体の規約に沿って継続して事業を遂行していく。
(4) 実現性 企画、運営、方法、スケジュールなど実現可能な活動であること。	花苗に詳しい会員がいるので、その方を中心に自分たちの会員の規模にあった植栽計画を行い実施していく。これまでも実行していたので、実行体制は築けている。スケジュールも担当まで詳細をつめているので、実現可能である。
(5) 公益性 特定の対象への限定的な活動ではなく、地域の課題やニーズなど、地域の実情に対応した活動	県道沿いにあり、地域のみなさんをはじめ、通行人も楽しませることができる。 希薄化しているコミュニティの形成にも役立つ。
(6) 費用の妥当性 経費見積もりが活動内容に見合ったものであり、経費削減に努めていること。	花の苗も自分たちで挿し木をしたりして増やしているが、ほぼ花苗代、肥料代である。私たちの花壇のサイズにみあった花苗の量を計上している。

2 補助事業終了後の取り組み

※事業を継続させていくための長期的見通しについて、具体的に箇条書きで記載してください。特に、財源調達方法についても記載してください。

- ・後継者の育成や会員募集を積極的に行う
- ・財源については、会費や寄付金・協賛金を積極的に募る
- ・事業を常にブラッシュアップし、魅力的な事業とし、参加費をとれるプログラムを構築していく